

## 神の約束に生きる

(創世記15・1〜6)

## 一、神さまはどなた？

きょうは「はじめてのキリスト教」の礼拝なので、信じる者にもたらされる希望についてお話をさせていただきま。す。「信じる者」と申しましたが、何を信じるのでしょうか。神と神の約束です。では、神さまとはどなたでしょうか。何というお名前でしょうか。日本では、自然イコール神さまですから、山の神、川の神、海の神と、八百万(やおよそ)の神を祭る文化を持っています。こういう文化は、自然を被造物と見て、自然を従えるという真反対の文化と比べるなら、それなりにいいものは持っている、私は考えます。ですが、自然は神ではありません。創造主が造られ、それを見られて「非常に良かった」とおっしゃったものです。

では、聖書が語る神さまはどのようなお方なのでしょうか。一言で語るなら、次のようになります。旧約時代、すなわちイエス・キリストが現れる以前は、神はアブラハムにご自身をあらわされ、イスラエルにご自身をあらわされました。そして、アブラハムの子孫として生まれられたイエス・キリストこそは、神の御姿を余すところなくあら

わされました。なぜなら、キリストは神が人となられたお方だからです。「イエス・キリストを見るときに神が見える。」これが私たち、教会が抱いている思いです。

## 二、背景

きょう開いた聖書箇所は、アブラムという人が登場します。後に、アブラムという名前を神さまからいただきました。アブラハムはカルデヤのウルという場所に生まれ、育ちました。そこは、多くの神々を信じる場所でした。太陽神、月神、その他の神々が信仰の対象でした。ですが、創造主なる神は太陽を、月をお造りになったお方です。今の時代の言葉で言うなら、時間・空間・物質・命を造られ、定められておられるお方です。そして、新約聖書のメッセジを加えるなら、私共罪人を救ってくださいな方です。その、まことの神、おひとりなる神がアブラハムに現れてくださいました。想像ですが、アブラハムはカルデヤのウルに住んでいた頃から、それまで信じられてきた神々に納得できず、「ほんもの」を求めていたと思われま。す。そういうアブラハムであったからこそ、創造主なる神、まことの神が声をかけられました。神がアブラハムにはつきりと語られたのは七十五歳の時でした(創12・4)。当時、すなわち今から四千年以上前は、七十五歳は超高齢

者でした。発掘調査によれば、四十歳でも高齢者の時代でした。七十五歳まで生きるのは、労働のために身を粉にして働く一般人には無理でした。そういう観点から見るとアブラハムは裕福であったということになります。その超高齢者アブラハムにまことの神が語りかけられました。「地上のすべての民族は、あなたによつて祝福される」と。ですが、神さまが語ってくださいった祝福の約束が実現するためには、アブラハムから子が生まれなくてはなりません。アブラハムはすでに七十五歳、妻のサラにしても六十五歳です。この超高齢者夫妻に子供が生まれるのは人間的には不可能です。ですが、アブラハムは神の約束を信じました。ところが、いくら待っても子供は生まれません。そういう状況の下で、神さまはアブラハムに語られました。それが、きょう聞きました創世記15章の背景です。

## 三、約束に生きる——教会の信仰

この時、アブラハムは何歳ぐらになつていたのでしょうか。聖書に書いていないのはつきり分かりませんが、次に出てくるのが16章16節の(八十六歳)なので、八十歳ぐら이었다でしょう。アブラハム八十歳、妻のサラ七十歳の夫妻に子供が生まれるのはむずかしいです。ところが、主なる神はアブラハムに語られました。(創世記15・1)

と。アブラハムは自分の身から子供が生まれるのはむずかしいと考えたようです。当然と言えば当然です。そこで、当時の慣習に沿って、アブラハムは自分の奴隷を養子とすることを考えたようです。(創世記15・2〜3)と。ところが、主なる神は語られました。(創世記15・4)と。さらに、おっしゃいました。(創世記15・5)と。アブラハムは、どのように応答したでしょうか。6節です。(彼は主を信じた。主はそれを彼の義と認められた。) この言葉は、私たちキリスト教会にとつてとてもたいせつな言葉です。新約聖書の七つの箇所引用されているからです。

信仰とは何か。神が語られた約束を信じて生きることです。たとえ、現実が神の約束を打ち消しているように見えたとしても、私共にとつての約束は、イエス・キリストを信じる者は罪から救われているという、教会の中心となる約束です。ですが、そればかりではありません。周辺の約束すべてを含みます。その場合に、神の約束を信じることは、現実のすべてが「神の約束が実現するのとは不可能だ。あり得ない」と語っていたとしても、それでも信じるのが、教会が引き継いできた信仰です。

信仰とは、神が遣わされたキリストと神の約束を信じてのことです。キリストを信じるときに、神の約束を信じる不思議な力も授けられます。